

問題 10-12 リカードの等価定理と財政政策

政府は景気刺激策として、1兆円の国債を発行することで、減税か公共事業のどちらかの政策を行おうとしています。これらの政策の効果を理論的に考えるため、「リカードの等価定理」(公債の中立命題)が成り立つ状況でIS曲線に対する効果を調べます。これに関する次の記述のうち、妥当なのはどれですか。

ただし、国債発行の発行と財政政策は同時に行われ、その1兆円は減税か公共事業のどちらか一方のみに全額支出するものとします。

1. 減税のときも公共事業のときもIS曲線がシフトしますが、減税のときのシフトの幅の方が大きくなります。
2. 減税のときも公共事業のときもIS曲線がシフトしますが、公共事業のときのシフトの幅の方が大きくなります。
3. 減税のときはIS曲線はシフトせず、公共事業のときのみIS曲線がシフトします。
4. 公共事業のときはIS曲線はシフトせず、減税のときのみIS曲線がシフトします。
5. いずれの政策でもIS曲線はシフトしません。

(国家総合職 改題)